

笑う門には
福来る。

松山市勝山町1-18-10
(株)日本交通社
TEL(089)946-3911
発行人：中村剛志

氣海丹

坂村真民記念館(砥部町)

明朗・愛和・喜働

過飲を慎む

江戸時代末期の儒学者・佐藤一斎は、四十二歳で『言志録』を起稿しました。

十有余年にわたり随時、執筆され、全二四六条からなります。修養の糧や教育の心得がまとめられており、その一節に、「酒即」と題した一文があります。

「酒は穀氣の精なり。微しく飲めば以て生を養う可し。過飲して狂酏に至るは是れ薬に因つて病を發するなり」

これは「酒は穀物の精髓(エキス)であり、少量を飲めば養生に良い。度が過ぎると気が違つたようになるのは、薬を飲んで病気になるようなものだ」という意味であり、酒を過飲することを戒めています。

酒の適量は個人差があり、その日の健康状態によつても異なります。まずは、自身身の適量を知ることが先決です。そして、暴饮暴食を慎むことで、楽しい酒席となるでしょう。

忘年会のシーズンとなり、普段より、お酒を飲む機会が多くなるでしょう。酒に飲まれぬよう、一年の労を労いながら、さわやかに酒を嗜みたいものです。

●適度に嗜みましよう

「職場の教養」より

熊ちゃんの四季曆

仮置ききの

聖樹に窓の
星掛かる

掠裏へ

廻り来る冬
待ち伏せる

熊本良悟さんは砥部町在住、俳句甲子園の元選者です。



秋田 緑の言の葉カード

2016年11月11日新刊絵本

「あなたが描いた物語
～ハッピーエンドに
しかならない!～」



自分の本物のシナリオを生きたら人生はスムーズに進んでいく。あなたは「自分」を偽らず、そのオリジナリティを生かしていますか?

■2017.1.22 東京渋谷大盛堂書店で出版イベント!

★「言の葉ネットショップ」から購入できます。

<http://greenti.shop-pro.jp>

宇和ちゃんの啖呵短歌

友らみな企業戦士の役を終え
四季うるわ美しき城下まちに帰りぬ

星の数いかほどなるかと尋ねられ
教師答えぬ「星は燦然」

めんどい

メンドイ事ぎり言うなや
【やっかいなことばかり言わないで】

伊予井
知つとるけ